

アメリカ映画文化学会
映画英語教育学会九州支部
映画英語アカデミー学会九州支部

三学会合同研究大会



mark wahlberg mila kunis seth macfarlane



■日時:平成 26 年 9 月 6 日(土)

■会場:西南女学院大学 6号館 2階 6206 教室

9:30～ 受け付け開始

★10:00～11:00: 映画を使った研究・事例発表会 6206教室

10:00～10:30 Presentation 1

篠原一英 福岡県立久留米高等学校

題:「課題としての映画鑑賞による英語指導」

10:30～11:00 Presentation 2

大木正明 大分工業高等専門学校

題:「高専における海外交流事業への取り組み」

★総会 & 特別イベント会場 6206教室

11:00～11:15 ATEM 九州支部総会、TAME 福岡支部総会

11:15～11:35 映画ロケ地クイズ

11:35～12:00 映画おたくコンテスト

12:00～12:30 休憩 6207教室

12:30～12:50 TALKISH Presentation

13:00～14:00 戸田奈津子氏講演

14:15～16:30 映画試写会「テッド」

16:40 閉会式

17:30 懇親会

以上

(戸田奈津子さん Profile)

映画字幕翻訳者。東京都出身、津田塾大学英文科卒業。故清水俊二氏に手ほどきを受け、1970年の『野性の少年』ではじめて映画字幕を担当。『地獄の黙示録』で注目され、以後は『E.T.』『インディ・ジョーンズ』『タイタニック』『スター・ウォーズ』などの大作、話題作を担当、また海外映画人との親交が深いことでも知られる。著書は「字幕の中に人生」(白水社)、「男と女のスリリング」「スターと私の英会話」(以上、集英社)など。

(月刊 TVfan より抜粋)

(研究発表)

発表タイトル(実践報告)「課題としての映画鑑賞による英語指導」

福岡県立久留米高等学校 篠原一英

高校における課題としての映画鑑賞を通じた英語指導の実践報告を行う。高校3年生の進路決定者に対して、課題として冬季休業中に映画鑑賞を課し、その映画の中で用いられている英語表現の中から関心を持ったものを収集させ、英語字幕とその翻訳および日本語字幕を列挙させた。語い、構文、文法の解説を求め、さらに英文翻訳と日本語字幕の違いにも注意させた。また、異文化理解につながるよう、映画の背景や見所にも注目させた。予め配布したレポート様式にまとめさせ、提出を求めた。まとめとして、提出されたレポートを冊子にまとめ、グループで各自のレポートについて発表させた。また、教師もレポートに取り組み、実際に授業で映画DVDを鑑賞させ、その中で使われている英語表現を解説するとともに、文化的な背景等にも触れることで、生涯学習として、映画が英語学習や異文化理解に活用できることを示唆した。

発表タイトル(実践報告)「高専における海外交流事業への取り組み」

大分工業高等専門学校 大木正明

九州にある9つの工業高等専門学校(以下高専)は、現在、東南アジアを中心とする海外の大学との国際交流を平成 22 年度から推進している。これは日本政府からの援助で、海外の大学と提携を結び、日本の学生を現地に送り出し、海外からの学生を日本に呼んで文化交流および学術交流を進めるというものである。そこで今回は、マレーシアにあるペトロナス工科大学(以下 UTP)を九州にある高専の学生9名と共に訪問した際の様子を報告したいと考えている。期間中、丁度、同大学で開催された International Culture Night に全員が招待され、異文化を理解する機会に恵まれると同時に学生間でより深い交流が持たれ、他にも、UTP が誇る巨大な図書館や各講義室などを視察し、更に、同大学の講義の聴講も許され、英語の授業等への参加をはじめ、ETP (Engineering Team Project)と称するグループ別の共同プロジェクトに各学生たちが参加し、モノづくりを行った。文化面では、マングローブの森をはじめとする、マレーシア国内にある自然施設にも案内され、東南アジアにおける自然環境の保全についても学ぶことができた。期間中、今後、UTP の学生たちが九州の高専を訪問する際の日程等についても話し合いが持たれ、来たる本年度の 10 月頃を目処に実施されることで合意がなされた。今回の発表では、こうした九州の高専における東南アジアとの国際交流について、一昨年度のシンガポールに続いて紹介をしたいと考えている。